

平成27年2月 東京地区百貨店売上高概況

平成27年3月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 174億円余
2. 前年同月比	5.3% (4か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭5.4%(87.3%) : 非店頭4.0%(12.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成27年1月対比±0店)
5. 総店舗面積	854,956㎡ (前年同月比:-2.4%)
6. 総従業員数	18,711人 (前年同月比:-0.8%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	7-9月 +0.0%、8-10月 0.5%、9-11月 0.2%、 10-12月 0.2%、11-1月 0.4%、12-2月 1.7%

【参考】平成26年2月の売上高増減率は3.9% (店舗数調整後)

【2月売上の特徴】

- (1) 2月の入店客数は、天候条件の差 (前年大雪)、バレンタイン催事の活況及び春節休暇 (18日~24日) による訪日外国人観光客増などから5%強のプラスとなった。
- (2) 商品別では、衣料品 (+8.2%)、食料品 (+2.8%)、雑貨 (+5.1%)、身のまわり品 (+6.1%)、家庭用品 (+0.8%) の主要5品目が全てプラスとなったことで、昨年 of 駆け込み需要による高実績を上回り4か月連続のプラス (5.3%) を記録した。
- (3) 個別商材では、下旬からの気温上昇を受け紳士服 (+10.9%)、婦人服 (+8.8%) が好調で、春色を基調としたスプリングコートやニット、カットソーなどに人気が集まった。なお、バレンタイン商戦は催事の大型化 (展開時期、面積、取扱ブランドの拡充) や、付加価値志向の高まりを受けた客単価アップなどにより、各店ともに売り上げを大きく伸ばさせた。
- (4) 昨年 of 駆け込み需要による反動から、美術・宝飾・貴金属はマイナス (-5.2%) に転じたが、引き続き高級時計などを中心に動きは良く、一昨年比較では23.8%増と高い実績を残している。また、化粧品 (+20.5%) は昨年10月からの免税制度改正による増勢に加え、春節効果が上乗せされたものと推察される。
- (5) 3月の商況 (16日段階) は、早期投入した春物商材が高めの気温の影響から堅調なこと、人気催事の前倒しや開催回数の増加など各店施策が奏功していることなどから、前年実績を超える店舗も見受けられるなど、全体では10%程度のマイナスにとどまっている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 27.6日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 14店、②変化なし: 2店、③減少した: 3店
- (3) 2月歳時記 (節分、バレンタイン) の売上 (同上/有効回答数12店舗)
①増加した: 5店、②変化なし: 5店、③減少した: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2015年02月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	117,405,580	100.0	5.3
紳士服・洋品	8,503,008	7.2	10.9
婦人服・洋品	21,101,178	18.0	8.8
子供服・洋品	2,606,127	2.2	5.8
その他衣料品	2,306,613	2.0	-2.7
衣 料 品	34,516,926	29.4	8.2
身のまわり品	16,993,076	14.5	6.1
化粧品	8,262,320	7.0	20.5
美術・宝飾・貴金属	7,418,564	6.3	-5.2
その他雑貨	5,904,174	5.0	0.7
雑 貨	21,585,058	18.4	5.1
家 具	1,847,411	1.6	-8.5
家 電	1,282,637	1.1	12.1
その他家庭用品	4,213,683	3.6	2.2
家 庭 用 品	7,343,731	6.3	0.8
生 鮮 食 品	4,124,085	3.5	-1.7
菓 子	10,362,189	8.8	3.1
惣 菜	5,772,444	4.9	3.6
その他食料品	8,536,350	7.3	4.2
食 料 品	28,795,068	24.5	2.8
食 堂 喫 茶	2,794,809	2.4	7.9
サ ー ビ ス	2,157,353	1.8	1.0
そ の 他	3,219,559	2.7	4.7

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	1,894,034 千円	1.3
従 業 員 数	18,711 人	-0.8
店 舗 面 積	854,956 m ²	-2.4

営 業 日 数	27.6 日	前年	27.6 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が8か月連続、雑貨が5か月連続、食料品が2か月連続、衣料品が2か月ぶり、家庭用品が4か月ぶりのプラスと全品目がプラスとなった。紳士服・洋品、化粧品が8か月連続、家電、惣菜が3か月連続、菓子、その他食料品が2か月連続、婦人服・洋品が2か月ぶり、子供服・洋品、その他家庭用品が3か月ぶり、その他雑貨が6か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	5.3	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	10.9	0.8	8か月連続プラス
婦人服・洋品	8.8	1.5	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	5.8	0.1	3か月ぶりプラス
その他衣料品	-2.7	-0.1	6か月連続マイナス
衣料品	8.2	2.4	2か月ぶりプラス
身のまわり品	6.1	0.9	8か月連続プラス
化粧品	20.5	1.3	8か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-5.2	-0.4	4か月ぶりマイナス*
その他雑貨	0.7	0.0	6か月ぶりプラス*
雑貨	5.1	0.9	5か月連続プラス
家具	-8.5	-0.2	11か月連続マイナス
家電	12.1	0.1	3か月連続プラス
その他家庭用品	2.2	0.1	3か月ぶりプラス
家庭用品	0.8	0.0	4か月ぶりプラス
生鮮食品	-1.7	-0.1	11か月連続マイナス*
菓子	3.1	0.3	2か月連続プラス*
惣菜	3.6	0.2	3か月連続プラス*
その他食料品	4.2	0.3	2か月連続プラス*
食料品	2.8	0.7	2か月連続プラス
食堂喫茶	7.9	0.2	3か月ぶりプラス
サービス	1.0	0.0	4か月連続プラス
その他	4.7	0.1	2か月連続プラス
商品券	1.3	0.0	4か月ぶりプラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>